

画論受賞報告

華岡青洲記念病院 三浦 祐二

この度、第29回の画論 ザ・ベストイメージにてテクニカル賞を受賞し昨年12月19日に最終審査&発表式へ参加させていただきました。ありがたいことに2年連続の受賞となり、今回も前回と同様 Web 形式による参加となりました。当日は女優の神田沙也加さんの突然の訃報でザワついていた現場近くの札幌駅周辺の会場から参加し、会場は神田さんの話題で持ちきりでしたが Web ならではの機器トラブルもなく順調に会を終えることができました。やはり東京での現地開催のような華やかさは薄れ、発表も事前収録のため緊張感は少なめですが全国から多くの方々が気軽に視聴できることはメリットが大きいと思います。今回受賞した症例は『心筋遅延造影による Spectral 解析』でキャノンにしかできない320列による心電同期デュアルエネルギーCTを動脈相ではなく遅延相で撮影し、LIE(Late Iodine Enhancement)だけでなく ECV (Extra Cellular Volume)評価や冠動脈ブランク解析を行い新たなワンストップ検査とした症例でした。デュアルエネルギーに関しては他施設からの受賞症例はやはり多くあり、さまざまな創意工

夫でとても参考になると同時に臨床研究等でしっかりとデータを採り、症例報告などで論文化されている症例はクオリティが高く非常に感心しました。今後の抱負として当院は比較的最新の技術が搭載されたCTが稼働していますが、それを使いこなすには知識のブラッシュアップや新たな発想が必要で多くの患者さんに最良の検査を行い、画論を通じて新しい技術のアピールができればと思います。次回の画論は第30回の節目の回なので、またぜひ気合を入れて応募して今度こそ最優秀賞を狙いたいです！



会場風景（会開始前のセッティング）